

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

2月は、和名で「令月」、何をするにもよい月、めでたい月とされた。しかし全国各地で大寒波襲来のニュースに「観測史上最大の降雪量」との情報が続

き、交通機関で相次いで欠航や交通止めが発生、「五六豪雪」と呼ばれた1980年12月から翌年3月による豪雪当時を思いだす。家回りの積雪も屋根からの落雪も加わり1階部分

1700年代の俳人・加賀千代女さんが詠んだ「ころぶ人を笑うところぶ 雪見かな」で風流の1つに数えられた「雪見」と思われる外国からのお客様が急増している。「花見・月見」に匹敵す

「雪見」文化創造が地域の大切な課題だ

「第2のニセコ」と注目される白馬村の情報が多く発信され続けている。外国資本での観光施設の建設などに

よる土地売買の影響で地価が高騰している。住民が経営する営業施設が多いため、経営者の高齢化に伴い相続税の負担に対する不安が増加。そのため所有地の転売による更なる地価高騰が懸念と伝えて

「雪見」文化を創造する楽しみが地域で活発な議論になっ



1月下旬の国道148号線の道路除雪の搬出作業が2月の交通確保に大きな成果を発揮する

農業でも単作経営しかできないため、農業所得は極めて低い現状がある。経営者も高齢化し、後継者も規模拡大

理することは限りなく困難なのは誰もが知るところだ。農地や山林を活用した土地利用を模索することが求められている。

米国の心理学者の名から「ザイアンスの法則」と呼ばれる考え方があ

（信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上）